

令和5年5月31日
江戸川流域治水協議会、中川・綾瀬川流域治水協議会
資料-3

江戸川流域治水協議会と中川・綾瀬川流域治水協議会 広報の取組と展開

流域治水の推進に向けた広報

① 広報ツールの検討

- ⇒ 令和4年度下期から江戸川河川事務所内で流域治水の推進に向けた広報検討チームを発足、検討を進めており、年度内を目途に流域治水関係の広報の方向性をまとめている。
- ⇒ 令和5年度より具体的な検討に着手。各構成員とも連携した広報展開を進めて行きたい。

② 情報収集への協力

- ⇒ 流域治水の広報にあたり、基礎調査として、構成員が実施中の広報活動・ツールなどを把握させて頂きたいので協力を。

広報の取組例 江戸川河川事務所

沿川自治体との連携

◆ 特定都市河川指定に係る検討会(中川・綾瀬川)

- 現在、中川・綾瀬川流域において、特定都市河川の指定に向けた具体的な議論を進めているところ。
- 検討会においては、流域治水に係る最新の動向についての**情報提供**も実施。
- 特定都市河川の指定手続きに移行後は**具体的な周知等について検討会でも検討していく方針**

◆ 沿川自治体担当者への情報提供、意見交換(江戸川)

- 江戸川沿川においては、河川整備計画改定に向けた検討等の際に流域治水に係る情報提供や、特定都市河川の指定に係る情報提供を行いつつ、国・関係自治体で**意見交換を行っている**ところ。
- 特定都市河川の指定については全国展開の動きもあり、R5は、流域治水のひとつの手法として「特定都市河川の指定」に係る**勉強会を実施**していく方針。
- 具体的に**水害に対して安全なまちづくり**に向け、議論をスタートさせた自治体もあり、議論の熟度に応じて流域治水協議会でも事例として紹介させていただきたい。

既存施設を活用した広報

◆ 地元施設の見学を通じて居住地の水害リスクや、治水に対する知識・理解を深化

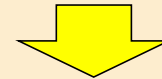


- 地元町内会の行事として、**地元施設**の「八潮排水機場」や「三郷排水機場」などの河川管理施設を見学して貰い、中川・綾瀬川の治水と排水機場の役割について、**地元住民の理解**を深めていく。

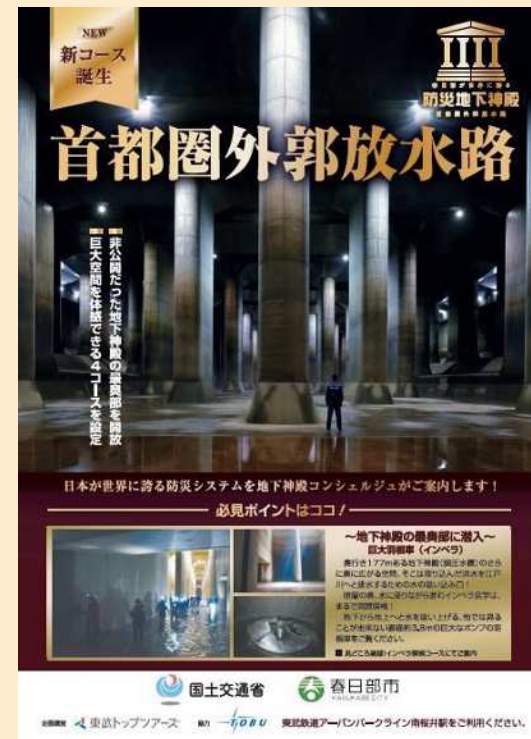
首都圏外郭放水路の集客力を活用した広報の推進

◆ 江戸川河川事務所の広報拠点を「流域治水」の発信基地に

- 世界最大級の地下河川「首都圏外郭放水路」(埼玉県春日部市)には潜在的な観光需要が存在。
- 民間事業者と連携した社会実験見学会以降の見学者数は大幅に増加しており、「流域治水」の**発信基地として活用**



本年度から検討・作成を行っていく「流域治水」の広報ツールを活用し、流域内外への「流域治水」の拡散・浸透を図っていく。(認知度の向上・興味・好奇心)



広報の取組例 江戸川河川事務所

広報展開に向けた所内体制の構築

- ◆ 事務所が進める流域治水や広報展開について、昨年度から若手職員を中心とした所内広報PTを立ち上げ議論を進め、今後の広報メニューや実践に向けたロードマップなど議論し、事務所全体での取組に向けた所内体制を構築。
- ◆ R5年度は具体的な「広報ツール」等の案についても作成し、「流域治水協議会」において発信に向けた議論を実施したい。



広報(流域治水版)ロードマップ案



国からの提案

- 流域治水の取り組みの推進にあたっては、協議会構成員だけではなく**流域住民の理解・協力が重要**
- 「**流域治水協議会**」を「**広報**」の軸とすることで、**国・自治体・企業が一体となった広報展開を進めることが可能**
- 将来的には「**流域治水協議会**」が、**国・都県・区市町・企業**の代表窓口として、広報展開や治水事業に関する講座や防災教育、シンポジウム・イベントなど「**住民参画**」の**中心**としての役割を担っていくことを目指す

イメージ案

